

【表現内容 C:造形要素】

味わいのあるマグカップ

形を描くこととはー

「私は絵を描くことが苦手だ」と思っている人、もう一度「形」について考えてみましょう。

絵を描くときに風景や花、人物などを描くことが多いと思います。描きたいと思っているものを一生懸命見ながら描こうとします。そして、自分の絵と実際の物との違いを感じ、「自分は絵がうまく描けない、苦手だ」と感じてしまうのではないのでしょうか。

しかし、ここで考えてもらいたいことがあります。それは、「実際の物の形に描くことが、絵にとって必要なことなのではないか？」という点です。もちろん、正確に物を描ける力は大切ですが、それがすべてではないと思います。

例えば、「マグカップ」を絵に描くことで考えてみましょう。大量生産されるマグカップは、柄の部分を除いて、左右対称の形でつくられているものがほとんどです。みんなは、左右対称の形を描くのひと苦労します。マグカップの形に近づけたら、自分で納得できる美しい形に描けたと思うでしょう。でも、「美しく感じる形」だけではなく、「味わいのある形」や「元気な形」という点で考えたら、どうでしょうか。

実は、みんながへたと感じる形が、とても味わいのある形であったり、乱暴に描かれていると思う形が、とても元気のある形であったりしないのでしょうか。私は、どちらの表現もすばらしい形の表現だと思います。

形の表現は、色彩表現と同じように、その人の個性が自然と出てくるものです。自分だけしか描けない個性的な形があります。「自分は絵が苦手だ」と感じている人、もう一度、自分が描いた形に注目してみましょう。とても個性的な形を描いていないのでしょうか。是非、その個性を大切に、図工や美術の学習をしていってほしいと思います。



よねもとけいいち
(米元慶一:千葉県松戸市立第三中学校教諭)